不高学友会だより

大橋新会長（加須市長）（右）と門谷校長（左）

発行所
埼玉県立不動岡高等学校
学友会
加須市不動岡1―7―45
電話 0480（61）0140

不動岡高校学友会
「会長就任にあたり ―母校に寄せる―」

大橋　良一

大橋　良一

皆様は、「母校」と聞いて、何を思い浮かべますか。教室での授業風景、同じ時間を共有した友人たち…。淡い思いを抱いた初恋の人でしょうか。私は、部活動の休憩時、汗を拭きながら見上げた風にそよぐポプラが思い浮かびます。

若き青春の一時期を過ごした学び舎を、少しでも思い出していただければと思います。すると、母校に対して「何かをしたい」という気持ちが湧いてくると思います。恩返しという大袈裟なものでなく、母校の役に立ちたい、後輩たちに示したいという「無償の思い」は、それぞれ皆様の中に多少の差はあれど、灯っているのではないでしょうか。

私は、故立岡勝之会長の後任として、伝統ある不動岡高校学友会会長に就任させていただきましたが、私は78回の卒業生で、世にいう団塊の世代の一員であります。在校当時は、特に学力に秀でていたわけでもなく、スポーツか何かで特技を発揮していたこともなく、平凡な一生徒でありました。

しかし、このほど、不動岡高校の地元である加須市の市長を任わせていただいている縁もあり、会員の皆様から学友会の会長にご推挙いただいた次第であります。歴史と伝統ある不動岡高校のさらなる発展に貢献できるかどうか不安なところでありますが、精一杯努力させていただきます。

母校とのかかわりが再び明確な輪郭を持つことで、その寄せる思いから立志することは、会員の皆様の心を一つにすることです。

不動岡の卒業生には、国内外ですばらしい活躍をされている方が大勢いらっしゃいます。そのような方が交替で「母校不動岡」に来校し、後輩たちに良い影響を与えていただければ幸いでございます。学友会長といたしましては、母校に対する会員の皆様の尊い思いが、少しでも後輩に伝わることを希望するものです。また、そうした行動に表していただくことが、生徒たちにとって有意義で刺激的な生きた人生勉強になるのではないでしょうか。

不動岡高校の卒業生同士、また卒業生と在校生が強い絆でつながること―。私といたしましては、その仲介役を果たせればと考えております。

改めて、会員の皆様のご尽力をお願い申し上げますとともに、卒業生の皆様の健康でのご活躍をお祈り申し上げまして、不動岡高校学友会会長就任のあいさつといたします。

いざや学ばん諸共に

校長　門谷　修二郎

去る三月十一日の東日本大震災において、亡くなられた多くの皆様の御冥福を心からお祈り申し上げます。また、被災された多くの方々には、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を願い、微力ながら私どもにできることを一つ一つ実践することを心に誓うものであります。本校も、震災によって新校舎の中庭が一〇センチ程陥没し、震災後の一週間は、東武伊勢崎線の運休のために休校を余儀なくされました。年度当初も入学式の時程を変更するなどの心配もありましたが、お陰様で何とか本来の教育活動を取り戻し、軌道に乗って今日を迎えております。

私も、本校に赴任して二年目を迎えました。生徒達は、様々な分野で元気に活躍してくれています。昨年度に引き続いて、県教育委員会の進学指導重点推進校の委嘱を受け、セメスター制と単位制の特色を活かして、進学実績の向上に力を入れるとともに、学校祭などの学校行事や部活動においても成果をあげております。今年度も、陸上競技部が棒高跳びで全国高校総合体育大会への出場、箏曲部、新聞部、文芸部が全国高校総合文化祭への出場を果たしました。剣道部も学友会員である浅野猛先生（一〇九回生）を迎え、古豪復活を期しています。不動岡高校は、引き続き「文武両道」を目指してまいります。

さて、生徒達は、式典や学校祭など様々な場面で校歌を歌いますが、不動岡高校の生徒は、大きな声で実に元気よく自分の学校歌を歌います。この春の第一二三回の卒業式でも、吹奏楽部の伴奏による歌声は感動的でありました。本校の生徒達は、自分の学校が大好きで、不高生であることに誇りを持っているのだということをつくづくと感じました。こんな感慨もあって、四月当初、外国語棟の東側の壁に、校歌の二番と三番の一節、「明朗質素の若き友　いざや学ばん諸共に」の懸垂幕を掲げました。明るく元気で、ものを大切にする心と人への感謝の気持ちを忘れずに、互いに切磋琢磨しながら学業と部活動に励んでほしいという私の願いをこめたものであります。卒業生であれば、一目見て何であるかがすぐにわかる、本校の伝統を表すものです。是非とも、御来校いただいて御覧いただきたいと思います。

また、本年四月、文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール事業（ＳＳＨ）の五年間にわたる指定を受けることができました。これにより国から多額の予算をいただき、理数教育に関する本校独自の教育プログラムを研究開発していくことになります。本校のこれまでの歴史と伝統を受け継ぎつつ、不動岡高校のさらなる発展を目指していきたいと決意を新たにしているところです。職員一同、生徒と一体となって、「いざや学ばん諸共に」と邁進してまいります。どうか学友会の皆様には、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）」の指定

本校は平成二十三年度から五年間、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）」に指定されました。この事業は将来の国際的な科学技術関係人材を育てるために先進的な理数教育を実施する高等学校が指定されるもので、現在、県内８校、全国１４５校が指定されています。本校は、これまでも国のサイエンスパートナーシッププロジェクトや県のサイエンスアカデミー推進校などの指定を受けて、大学や研究機関、企業等と連携して先進的な研究や技術に触れる機会を設け、理数教育を強化してきましたが、その実績のもとに、ＳＳＨという全国レベルのステージに上がることを認められました。

本校はＳＳＨの研究開発課題を「『事実から『気づき』そして『探求』へ…科学的素養を身につけ、生涯にわたって『科学』に対する意識を持ち、持続可能な社会の創造・発展に貢献できる人材を育成する教育課程・学習指導法の研究」と定めています。その中心である「科学的素養」を「事実を吟味する力」「論理的思考力」「合理的に判断する力」と定義し、理数教科はもちろんのこと、理数以外の教科でも科学的視点を育むよう、広く生徒を対象として全校体制で取り組むこととしています。

具体的には、セメスター制の特色を活かして、ＳＳ基礎、ＳＳ応用、ＳＳ発展の各ステージを設け、その中で、特別な科目やクラスを設けずに、理数教科を中心とした現在の科目の授業に、一定の授業時間をひとまとまりとしたユニットタイプの授業を組み込み、その中で、科学的方法の習得、大学・研究機関と連携した講義や実験実習を通じて先進的な研究・学問に触れるなどの取組を行います。

取組はすでに始まっており、物理ユニットでは東京大学の櫻井教授の指導助言のもとに「はかる」をテーマとしたグループ研究、生物ユニットでは「ウニの受精と発生の観察」「ＤＮＡの抽出」などの実験観察、化学ユニットでは日本科学未来館の井上先生の指導による「科学プレゼンテーション」、東京大学の鍵教授の指導による「地球内部を作る物質の化学」の講義・実験、北里大学理学部での模擬実習などが行われています。今後も多彩な取組が予定されており、年度末にはその成果を発表する機会を予定しています。

これまでの外国語科の実績に、ＳＳＨが加わり、学習の舞台として理数教育と外国語教育を両輪とした最高のものがそろいました。この舞台の上で、生徒がより高いレベルで進路実現ができ、明日の日本を背負って立つ人材としてさらに飛躍させるべく全校で取り組んでいきたいと思います。

（教頭　久保島　昌一）

人事異動

転出・退職

職名	氏名	教科	転出先
教頭	富田　克己	国語	退職（久喜北陽高校再任用）
主幹教諭	野口　真司	理科	秩父特別支援学校（教頭）
教諭	法元　玲子	国語	退職
	小野沢希美	国語	退職
	岩崎　誠一	地歴	鴻巣高校
	諏訪　正彦	英語	吹上秋桜高校
	海老沢やよい	英語	退職
	折原　文明	英語	嵯ケ谷高校（再任用）
	久保田　清	英語	春日部高校（再任用）
	宮崎　良雄	保健体育	退職（久喜北陽高校再任用）
	池田　景光	家庭	久喜特別支援学校（新採用）
養護	江口　博子		春日部東高校（臨任）
実習助手	中村千代子		騎西特別支援学校
主任	中村　砂織		騎西特別支援学校
主事	篠塚　和也		福祉部障害者自立支援課
業務主事	菊池　秀吉		退職
業務主事	籠宮　慎吾		進修館高校（臨任）

転入

職名	氏名	教科	前校（前勤務先）
教頭	中村　光男	英語	滑川総合高校
教諭	小嶋麻由子	国語	新採用
	入谷　彩香	国語	
	斎藤　勤	地歴	大宮高校
	荒川　翔	数学	蕨高校（臨任）
	倉持　友和	理科	春日部女子高校（臨任）
	石井　徹尚	理科	星野高校（臨任）
	平野　英俊	英語	幸手高校
	松本　裕行	英語	大宮光陵高校
	栗原　穣	英語	春日部高校（臨任）
	浅野　猛	保健体育	越ケ谷（定）高校
	長谷川美容	家庭	誠和福祉高校（臨任）
	坪井　啓明	情報	新採用
養護	高塚千枝子		志木高校（臨任）
実習助手	山本　好江		新採用
主任	渋谷　浩美		大宮北特別支援学校
主事	松岡とし子		
主事	赤坂　由美		

平成23年度 慶祝者名一覧

（敬称略）

56　斉藤徳之助　秋の褒章　旭日双光章
64　平間　豪彦　秋の褒章　旭日双光章
71　木宮　進　秋の褒章　瑞宝小綬章
84　永江　幸子　伊奈町立小室小学校校長
84　太田　順子　越谷市立増林小学校校長
85　荒井　信男　蓮田市立平野小学校校長
85　大島　康三　越谷市立宮本小学校校長
85　川辺　浩　埼玉県立久喜北陽高等学校校長
86　土屋　和　草加市立新栄小学校校長
88　中村　典雄　高エネルギー加速器研究機構教授
89　中村　保雄　越谷市立光陽中学校校長
89　野口　馨　埼玉県立羽生高等学校校長
90　尾城　一幸　埼玉県立白岡高等学校校長
91　槇島　良治　久喜市立鷲宮西中学校校長
91　水野　義夫　羽生市立東中学校校長

二〇一一年度の入試結果

平成二十二年度卒業生の進路状況は、四年制大学への進学者二八一名、短期大学進学者一名、専門学校進学者五名、進学準備七一名であった。

二〇一一年度入試の特徴は、①国公立大志願者の増加、②地元志向、③難関大志向の高まり、④理系志願者の増加の四点をあげることができる。

本校の入試結果は、国公立大学合格者72名、うち現役合格者58名であった。現役合格者数は昨年度とほぼ同数であったが、浪人生の合格者数が昨年度の22名から8名減少し、現役浪人合計の合格者数の減少となった。

難関大学では、東北大2名(うち現役1名)、東京大学1名、東京工業大学1名、東京外国語大学2名（現役1名）、名古屋大学2名が合格した。

首都圏の大学では、埼玉大学24名(現役20名)、筑波大学4名(3名)、千葉大学3名(現役)、東京学芸大学3名(現役)、首都大学東京3名(現役)、埼玉県立大学7名(現役)、宇都宮大学3名（現役）など合格者を出した。

私立大学では、早稲田大学32名(うち現役21名)、慶応大学14名(10名)、上智大学8名(3名)、東京理科大学26名(19名)、立教大学48名(42名)、明治大学54名(43名)、法政大学55名(44名)、日本大学46名(32名)、東洋大学75名(72名)、芝浦工業大学33名（28名）など多くの合格者を出すとともに、早稲田大学合格者数が昨年度に比べ16名増加、慶應義塾大学も7名増加と難関私立大学の合格者が増加した。

本校では、早朝・放課後課外補習、長期休業中の課外補習等しっかりした受験指導を行っているので、来年度入試に向けては、センター試験での高得点を目指し、積極的に難関大学にチャレンジし、第一志望大学合格を勝ち取れるよう、生徒、教職員一丸となって頑張っていきたい。

進路指導部　齋藤　勤

過去3年間の合格者数（現浪計、私立大学は延べ人数）

	大学名	2009年度	2010年度	2011年度
国立大学	北海道大	1	1	
	弘前大		1	
	岩手大	2		
	東北大		3	2
	福島大	1		
	茨城大	3		1
	筑波大	8	2	4
	宇都宮大	9	7	3
	群馬大	2	2	1
	埼玉大	20	19	24
	千葉大	6	7	3
	東京海洋大		1	
	電気通信大		1	1
	東京大			1
	東京外大	3	4	2
	東京学芸大	4	8	3
	東京工業大			1
	東京農工大			1
	一橋大	1	1	
	横浜国立大	1	1	2
	新潟大			1
	富山大		1	1
	金沢大		1	
	信州大	1		1
	名古屋大			2
	宮城大	1		1
	秋田県立大		1	
	前橋工科大	1		
	高崎経大	3	1	1
	埼玉県立大	10	13	7
	首都大東京	1	4	3
	横浜市立大	2		2
	都留文科大	1	1	
	その他	1	1	4
	合計	82	81	72

	大学名	2009年度	2010年度	2011年度
私立大学	獨協大	35	43	19
	文教大	38	26	34
	青山学院大	8	5	17
	学習院大	14	20	12
	北里大	6	7	2
	慶応大	5	7	14
	国学院大	9	6	8
	国際基督教大		4	
	駒澤大	8	6	20
	芝浦工大	32	35	33
	上智大	9	10	8
	成蹊大	13	11	11
	成城大	18	22	18
	専修大	7	6	9
	大東文化大	6	12	17
	中央大	33	17	27
	津田塾大	8	6	4
	東京家政大	10	9	11
	東京女子大	12	11	7
	東京農大	10	15	4
	東京理大	30	30	26
	東洋大	63	45	75
	日本大	41	60	46
	日本女子大	4	11	13
	法政大	51	40	55
	星薬大	6	1	1
	武蔵大	13	7	18
	明治大	39	44	54
	明治学院大	13	8	17
	明治薬大	12	6	5
	立教大	58	50	48
	早稲田大	29	16	32
	その他	148	177	171
	合計	788	773	836

故立岡勝之氏の追悼の辞

第4代学友会会長立岡勝之氏におかれましては、肺炎のため平成22年12月31日にご逝去されました。

立岡氏は、埼玉師範学校を卒業後、中学校教諭を経て、埼玉県職員となりました。仕事に熱心で、人当たりも良いため、多くの人に親しまれました。なかでも畑和知事（第3代学友会会長）の信任は厚く、商工部長、総務部長、出納長を歴任し、昭和60年4月に副知事に就任しました。また、土屋義彦知事にも慰留され副知事として平成5年3月に退任するまで県政を支えました。

本学友会においては、畑和第3代学友会会長が　平成8年1月にご逝去された後を継ぎ第4代学友会会長に就任しました。その後平成22年11月まで14年間の長きにわたり学友会長として本校のためにご尽力いただきました。

平成18年の120周年に併せて行った校舎新築もその功績の一つです。平成13年当時、本校は校舎新築の構想を県教育局と協議していましたが、その規模の大きさから協議は難航していました。見かねた立岡氏は当時の宮田明校長を伴い、土屋知事に陳情しました。土屋知事は自らの県政発足の恩人として立岡氏を迎え、直ちに自ら不動岡高校を訪問することを約束しました。知事の訪問後、校舎新築は円滑に進み120周年に間に合ったことは周知のとおりです。

立岡氏は不動岡高等学校をこよなく愛されており、お亡くなりになる直前まで不動岡高校の発展を望んでおられました。本当に長い間ありがとうございました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

（文責　小野田幸夫）

現在の不動岡高校

新聞部
全国高文祭　三年連続「優秀賞」

第35回全国総文祭は震災と放射能の関係で一時開催が危ぶまれた福島県で開催され、新聞部門は会津若松市の会津大学を会場に八月三日から五日にかけて行われました。新聞部は第28回の徳島大会から8年連続の出場となり、全国の高校からも注目されるまでになりました。八月四日に行われた全国年間紙面審査の表彰式で入賞した53校の中から最終審査が行われ、上位の最優秀校5校、優秀校7校が発表、表彰されます。受付で高校名を告げた部長の長島に、応対した高校生から「不動岡は表彰されますから前の席に座ってください」と言われ驚きと喜びの表情を浮かべた部長を見ながら、私にとって最後の引率となる大会で表彰されてホッとしました。最後に、福島の高校生達は元気でした。

顧問　長島　巌

箏曲部
「ふくしま総文」報告

八月一日から四日まで、福島県で開催された第三十五回全国高校総文祭に、3年生七名2年生八名で参加させていただきました。

震災の影響で、開催地が変更になったり、設備の故障があったり、開催県の高校生や先生方のご苦労は大変なものだったと思います。しかし、棚倉町文化センター倉美館は連日立ち見も出るほどで、熱気にあふれていました。

リハーサルは、慣れない舞台で、音がばらばらに聞こえ大きく戸惑いました。本番では他校のレベルの高い演奏を聴く中で、全国大会の晴れの舞台で演奏することの誇りと責任を強く実感しました。

三年生にとっては最後の舞台。全力を出し切ろうと心を一つにし、良い演奏をすることができました。

ありがとうございました。

顧問　久保美恵子

文芸部
全国高文祭に参加

第三十五回全国高等学校総合文化祭（福島大会）文芸部門に、文芸部二年生長谷川楓子さんが参加しました。長谷川さんは、昨年、埼玉県高校生文芸コンクール散文部門で最優秀賞を受賞し、埼玉県の代表になりました。受賞作は「蜂蜜とトマト」です。

福島大会は、部門別交流会・分科会・全体交流会・記念講演会等が三日間の日程で行われました。

散文部門の交流会は全国からの参加者が、太宰治の「走れメロス」を題材に共同で創作をしました。作風や創作方法の異なる、初対面の高校生が共同で作品を作るので、どうなるのか心配しましたが、限られた時間内で完成させたのには感心しました。

文芸部顧問　齋藤　勤

陸上部
全国大会十年連続出場

「北の空　君に無限の可能性」をスローガンに8月3日から5日間岩手県北上市で開催された全国総体陸上競技選手権大会に岡安崇倫（3年）が棒高跳に出場しました。東日本大震災で甚大な被害を受け開催が危惧されましたが高校生の一生の思い出となる大会となるよう諸準備にご尽力いただいた関係機関には本当に敬意と感謝申し上げたいと思います。結果は残念ながら4ｍ50で決勝進出は果たせませんでしたが本人の持てる力は十分出し切ってくれたかと思います。今後は秋に山口国体に上原あずさ（3年）が埼玉代表として出場予定です。今後もご理解とご支援の程よろしくお願い致します。

顧問　小堀　泰代
倉科　淳

女子ソフトテニス部
関東大会　2年連続出場

6月3日から狭山市智光山公園テニスコートで開催された関東大会に高橋里沙・小磯千瑛ペア（ともに3年）が出場しました。

昨年は、高橋が1学年上の山納仁美と組んで出場しましたので、2年連続出場です。結果は、2回戦東京都代表、文化女子大学付属杉並高等学校の大将ペアに惜敗しました。レベルの高さを痛感させられた対戦でした。

2人の最も成長したところは精神面です。ぶれない気持ち、折れない気持ちが身につきました。

この大会に参加して、部員一同、改めて、多くの方々に支えられていることを実感しました。今後も感謝の気持ちを忘れず、ソフトテニスを通じて『自分磨き』できるように活動していきます。

ありがとうございました。

顧問　柿沼　敦子

英語弁論大会に出場して

8月18日、19日に和歌山県和歌山市で開催された全国国際教育研究大会での高校生英語弁論大会に出場しました。6月に行われた埼玉県大会と、7月の関東甲信越静地区大会を通過しての出場でした。初めての全国大会で不安や緊張もありましたが自分の力を出し切ることができ、外務大臣賞を受賞することができました。

各地域の代表として全国から集まった高校生のスピーチはどれも完成度が高く、題材の選び方や原稿の作り方、表現の仕方など参考になる点がたくさんありました。それらを生かしながら今後も努力を続けていきたいです。

今回ご指導くださいました外国語科の先生方をはじめとする多くの皆さんに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

外国語科2年　岡本　菜摘

訃報

東京家政大学名誉教授、埼玉純真短期大学非常勤講師新井規夫様（69回卒）が本年八月十九日、七十二歳でご逝去されました。

謹んで、お悔やみ申し上げます。

学友の集いにご参加ください

恒例の学友の集いを左記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わった母校を、ご自身の目でご覧頂きつつ、旧交を暖めて頂ければ幸いです。お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

日時
平成二十三年十一月六日(日)
午前一〇時三〇分より

会場
埼玉県立不動岡高等学校
不動岡ホール

総会議事
①平成22年度会務報告
②平成22年度会計報告
③慶祝者表彰
④その他

講演会
「市政における危機管理」
大橋　良一　加須市長

懇親会
不動岡百周年記念会館にて

懇親会費
三、〇〇〇円
（当日受付でいただきます）

お問合わせは
☎〇四八〇―六一―〇一四〇まで